

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成24年4月26日(2012.4.26)

【公表番号】特表2011-515125(P2011-515125A)

【公表日】平成23年5月19日(2011.5.19)

【年通号数】公開・登録公報2011-020

【出願番号】特願2010-550893(P2010-550893)

【国際特許分類】

A 6 1 B 17/068 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 17/10 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成24年3月8日(2012.3.8)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

開腹ヘルニア修復中に使用するための外科用ステープラであって、
ハンドルをその基端に有するとともに、下向きに配置されるステープル放出ポートをその先端に有する長尺のシャフトであり、所定量のステープルが前記ポートから選択的に放出されるようにするべく前記ハンドルを操作できる、シャフトと、

前記ステープル放出ポートの近傍に位置し、外科用メッシュを操作するのに役立つように前記ステープル放出ポートによって規定される面よりも先端側に突出する 1 つ以上のメッシュマニピュレータと、
を備える外科用ステープラ。

【請求項 2】

1 つ以上の前記メッシュマニピュレータが、前記ステープル放出ポートを形成する放出ヘッドから延びる 1 つ以上の固定突起を備える請求項 1 に記載の外科用ステープラ。

【請求項 3】

前記ステープル放出ポートの両側に複数の固定突起が配置される請求項 2 に記載の外科用ステープラ。

【請求項 4】

1 つ以上の前記メッシュマニピュレータが非直線部を有するワイヤを備える請求項 2 に記載の外科用ステープラ。

【請求項 5】

1 つ以上の前記メッシュマニピュレータが引き込み可能である請求項 1 に記載の外科用ステープラ。

【請求項 6】

ステープルの傾斜した配列を備える請求項 1 ～ 5 のいずれか一項に記載の外科用ステープラ。

【請求項 7】

下向きに配置される放出ヘッドと前記長尺のシャフトとに取り付けられるステープルマガジンを備える請求項 1 ～ 6 のいずれか一項に記載の外科用ステープラ。

【請求項 8】

前記放出ヘッド内のステープルフォーマが、前記シャフトを通じて延びる作動アセンブ

りを介してハンドルのトリガによって駆動される請求項 1～7 のいずれか一項に記載の外科用ステープラ。

【請求項 9】

前記作動アセンブリが、前記シャフトの直線部分に硬質ロッドを備えるとともに、前記シャフトの湾曲部分にわたって可撓性部材を備える請求項 8 に記載の外科用ステープラ。

【請求項 10】

前記可撓性部材が平面である請求項 9 に記載の外科用ステープラ。

【請求項 11】

ハンドルをその基端に有するとともに、下向きに配置される放出ヘッドをその先端に有する長尺シャフトと、前記放出ヘッドと前記シャフトとの間に取り付けられるステープルの傾斜マガジンとを備える外科用ステープラ。

【請求項 12】

前記放出ヘッドが、前記シャフトを通じて長手方向に延びる作動アセンブリを介してハンドルのトリガによって駆動される請求項 11 に記載の外科用ステープラ。

【請求項 13】

前記作動アセンブリが、前記シャフトの直線部分に硬質ロッドを備えるとともに、前記シャフトの湾曲部分にわたって可撓性部材を備える請求項 12 に記載の外科用ステープラ。

【請求項 14】

前記放出ヘッドから延びる1つ以上のメッシュマニピュレータを更に備える請求項 11～13 のいずれか一項に記載の外科用ステープラ。

【請求項 15】

1つ以上の前記メッシュマニピュレータが複数の固定突起を備える請求項 14 に記載の外科用ステープラ。

【請求項 16】

1つ以上の前記メッシュマニピュレータが引き込み可能である請求項 14 に記載の外科用ステープラ。

【請求項 17】

鼠径ヘルニア手術の部位でメッシュを生体組織にステープル留めする人によって使用される装置であって、

手術部位に隣接して当該装置を保持するとともに、基端と先端とを有するハンドルと、

長手方向軸線を規定し、基端と先端とを有するとともに、前記基端が前記ハンドルの先端に取り付けられるシャフトと、

前記シャフトの先端に接続される取り付け部を有する一端と、ステープル出口ポートを有する他端とを有するステープル放出ヘッドと、
を備え、

前記ステープル放出ヘッドが、該ステープル放出ヘッドから前記ステープル放出ポートを通じて一直線に沿って前記ハンドルから離れる方向でステープルを発射するようになり、ステープル発射方向が前記シャフトの長手方向軸線に対して下向きであり、

前記ステープル放出ヘッドから延びる複数のメッシュ操作突起を備え、前記メッシュ操作突起が、鼠径ヘルニア手術中に体腔内に埋め込むのに有用なメッシュと係合するように構成され、それにより、前記メッシュと接続して、手術部位で該メッシュを生体組織にステープル留めするための位置へ該メッシュを移動させる、装置。

【請求項 18】

前記メッシュ操作突起が、前記ステープル放出ヘッドのステープル出口ポートによって規定される面よりも少なくとも約 3 mm 先端側に延びている請求項 17 に記載の装置。